秋のイベント続々開催

公衛協ア・ラ・モード
㉙ 海田町・府中市・廿日市市・安芸太田町公衛協

■第12回エーコと瀬野川環境フェア

（海田町公衛協）

9月25日、海田町石原～畝の瀬野川河川敷で「エーコと瀬野川環境フェア」が開催されました。今年度で12回目を迎えるこの事業は、海田町公衛協、かいた緑のネットワークなどが実施しています。

海田町公衛協は、「ごみ分別ゲーム台コーナー」や「かいたクイズ」「資源交換」「がん検診へ行こう」などのコーナーを設け、リサイクルのための啓発、リユースのための啓発、住みやすく美しい環境を作るための啓発、地球温暖化防止の啓発を行いました。

ごみ分別ゲームやかいたクイズ、資源交換の参加者には抽選券が渡され、抽選会には約500人が、がん検診へ行こうコーナーには約60人が参加し、地球温暖化や地元の歴史、健康づくりについて学びました。

■市民健康&福祉まつり2016

（府中市公衛連）

10月1日・2日、府中市文化センターで「市民健康&福祉まつり2016」が開催されました。今年度で29回目を迎えるこの事業は、府中市、府中市社会福祉協議会、府中市公衆衛生推進委員会連合会が主催して実施しています。

府中市公衛連では、軽運動コーナーを出展。力の加減や体のコントロールが要求されるミニゲーム「健康豆とり」「スカットボール」「ポケネット」「ビーンボーリング」の4種類が準備され、2日間で455人が体験しました。

また、脱温暖化コーナーも設けて、地球温暖化防止を呼びかけました。

その他、会場では医療に関する何でも相談、福祉施設展、みんなの消費生活点検などが行われ、さまざまな団体から市民に対し、健康と福祉について情報発信が行われました。

■はつかいち環境フェスタ2016

（廿日市公衛協）

10月2日、廿日市市のゆめ桜公園で「はつかいち環境フェスタ2016」が開催され、約5千人が来場しました。このイベントは、廿日市市、(一財)広島県環境保全公社、廿日市市公衆衛生推進協議会が主催して実施しています。

廿日市市公衛協ブースでは、廿日市市では恒例となっている飲料パックとトイレットペーパーの交換で、1千271回の資源交換が行われ、320キログラムの飲料パックが集まりました。併せて、がん検診の啓発も行い、チラシやティッシュを配布して検診の受診を呼びかけました。

その他、ゆめタウンの催事場で、環境啓発ポスター・標語コンクールの入賞作品の表彰式も行いました。入選作品は同会場の市民ホールに展示されました。表彰式は多くの来場者で大変にぎわいました。

また、地球温暖化対策はつかいちさくら協議会や脱温暖化センターひろしまも出展し、クイズ、エコ工作・省エネ相談、省エネアンケートなどを通じて、地球温暖化防止を呼びかけました。

その他、会場では里山マルシェ、企業の取り組み紹介、リサイクルマーケットなども開催され、ごみ・省エネ・生き物など幅広く環境について学べる場となりました。

■第10回安芸太田ウォーキングIN深入山～もみじウォーク～

（安芸太田町公衛協）

10月9日、安芸太田町の深入山グリーンシャワーを主会場に、深入山・恐羅漢・三段峡周辺で「もみじウォーク」が開催され、790人が参加しました。この事業は、実行委員会形式で主催され、公衛協は、参加者に自然環境を楽しんでもらう企画などを担当し、植物の案内板設置や解説を行いました。

今年度は、西中国山地踏破コース（30キロメートル）、深入山大満足コース（20キロメートル）、裏深入山一周コース（10キロメートル）の3つのコースが設定されました。豊かな自然の中で、体と心の健康づくりの場となりました。

主会場では、午後から神楽上演や健康運動指導士によるウォーキング講座、お楽しみ抽選会なども実施されました。

（地域活動支援センター）

エーコと瀬野川キャンペーンで、がん検診受診を呼びかける（上）、市民健康&福祉まつりの軽運動コーナーで「健康豆とり」・「ビーンボーリング」に挑戦する来場者（下）（右下）

はつかいち環境フェスタで資源交換を行う公衛協ブース（上）、催事場で行われたポスター・標語コンクールの入選作品表彰式（中）、もみじウォーク出発前に準備体操を行う参加者（下）

COOL CHOICE 私のクールチョイス ② 環境省・脱温暖化センターひろしま編

このコーナーでは、【買い替え】、【サービス】、【ライフスタイル】の3つの視点で、さまざまなクールチョイスの事例を紹介します。

【買い換え】省エネで高効率な家電、設備、建築物の低炭素製品への買い替えなど
【サービス】公共交通の利用やエコレールマークの付いた商品、グリーン電力の選択やスマートメーターによる「見える化」につながる低炭素サービスの選択など
【ライフスタイル】家庭でのエネルギー消費量・二酸化炭素排出量を減らす取り組みやエコドライブなど

環境省の加藤所長、西調査官と、脱温暖化センターひろしま上田センター長に、日頃取り組んでいる「私のクールチョイス」をご紹介いただきました。

【買い換え】（リサイクル）

最近、高効率の冷蔵庫、テレビに買い替えました。不要となった機器は、もちろん家電リサイクルの手続きをしました。

廃家電による温室効果ガスの問題は、不法投棄による不適正処分だけではありません。家電リサイクルの許可を受けていない不用品回収業者へ引渡してしまうと、ルールを無視したずさんな解体により、フロンなどの温室効果ガスが大量に放出されてしまいます。日々の温室効果ガス削減の取り組みを無駄にしないように、家電は正しくリサイクルしましょう。

（環境省中国四国地方事務所広島事務所　加藤所長）

【ライフスタイル】（節電・ごみ対策）

使わない部屋の電気のこまめな消灯、風呂水の再利用などの節電、節水の取り組みのほか、13階にある自室までエレベーターを使わず、階段を歩いて上るように心がけています。また、焼却施設での助燃剤使用量増加の原因となる残飯は水切りをしっかりする、水分量の多いスイカの皮は干して水分を無くしてから捨てるなど、小さな取り組みをしています。

（環境省中国四国地方事務所広島事務所　西調査官）

【ライフスタイル】（バイクビズ）

7年前から、通勤や広島市内を移動する際に自転車を使っています。通勤は片道10kmで、体調管理にちょうど良い距離です。太田川沿いを、四季の変化を野花や野鳥の変化で確かめながら、楽しく通勤しています。また、マイカーでは「ふんわりアクセル」や「加速・減速の少ない運転」などを心がけ、燃費をチェックしてエコドライブに努めています。

（脱温暖化センターひろしま　上田センター長）